

今、災害時に配慮が必要な人たちについて考える。

災害発生時に高齢者・障がい者・乳幼児・外国人・LGBTなど特に配慮を要する方がいます。災害発生情報や避難情報の気付きが遅れたり、避難行動がすぐにとることができなかったり、避難先で配慮の必要な状態が周囲に気付かれず、いのちの危険にさらされることがあります。

防災・減災への社会的関心が高まる一方で、支援体制が整っていない現状があることから、当事者・関係団体で意見を出し合い、多様性のある配慮を確認し、危険を回避できる方法やセクターの役割について学び合います。



無料

実施日／2020年 **2月1日** **土**

時間／10:00～15:00

会場／秋田県ゆとり生活創造センター **遊学舎**〈会議棟〉

講師／渡辺日出夫さん〈防災士／日本NPOセンター〉

【当日スケジュール】

- 10:00 開会 主催者挨拶
講演「災害時に配慮が必要な人への気付きと支援」
- 11:00 活動発表
 - 生活困窮者や法の隙間に置かれた方の支援
 - 食物アレルギーを持つ子どもや保護者への支援
 - 外国人への対応(言葉、心、制度など)
 - 性的マイノリティへの対応
- 12:00 アレルギー除去食の試食会、休憩(昼食は各自ご用意)
- 13:00 分科会
まとめ・交流会
- 15:00 閉会

※ 託児も受け付けますので、ご連絡ください。

関心のある方、どなたでも参加できます!

非常持ち出し品の展示や体験コーナー
(ハンドマッサージ・車いす操作・白杖操作)もあります。

※本事業は、損保ジャパン日本興亜・日本NPOセンターとの協働事業として実施します。

“ひとりもとり残さない”を目指して、私たちは持続可能な開発目標(SDGs)に取り組んでいきます

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

お問い合わせ
お申し込み先

特定非営利活動法人 **あきたパートナーシップ**

〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2(遊学舎)

TEL.018-829-5801 FAX.018-829-5803

E-Mail:info2340@akita-partnership.jp